

関係各位

高知県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について

平成 28 年度病害虫発生予察特殊報第 1 号を送付します。

---

平成 28 年度病害虫発生予察特殊報第 1 号

1. 害虫名      カンザワハダニ

2. 発生作物    ニラ

3. 発生経過

平成 28 年 7 月に高知県中西部の露地ニラほ場において葉がかすれ状に退色し、生育不良となった株が多数確認された（写真 1）。被害部に多数のハダニの寄生が確認されたため、高知大学の伊藤桂准教授に同定を依頼したところ、カンザワハダニであることが確認された（写真 2）。

カンザワハダニは様々な農作物を加害することが知られているが、ニラにおいて被害が発生したという報告はない。

4. 形態・生態

雌の体長は 0.53mm 内外。体色は、夏型雌はくすんだ赤色で体側に不規則な暗色部を持ち、休眠雌は一樣な朱色を呈する。雄の体長は 0.45mm 内外。体色は、淡赤色、黄赤色、無色などの変異があり、寄主植物によっても異なる。

チャ、ナシ、モモ、リンゴ、オウトウ、カンキツ、カキ、ブドウ、クワ、ホップ、ナス、ダイズ、インゲンマメ、サトイモ、サツマイモ、イチゴ、ウリ類、花卉類など多数の植物に寄生する。

（全国農村教育協会編、日本原色植物ダニ図鑑より）

5. 防除対策

（1）ほ場周辺の雑草はハダニの発生源となる可能性があるため、除草を徹底する。

（2）発生ほ場では、被害を拡大させないために、寄生葉を早期に除去し、ほ場外に持ち出して処分する。なお、ニラにはハダニ類に対する登録薬剤はない。

（参考）ニラの白斑葉枯病に対して登録のあるポリオキシシン AL 水溶剤は、他作物でハダニ類に登録がある。



写真1 ニラ葉のかすれ症状



写真2 ニラ葉上のカンザワハダニ